

2016年3月期 第2四半期 決算説明会



2015年11月4日

 **丸文株式会社**

(証券コード：7537 東証1部)

目次

- 本日のポイント . . . P. 3
- 第2四半期連結決算の概要 . . . P. 4
- 中期経営計画
 - 事業戦略と重点施策の概要 . . . P.13
 - 上期の進捗状況 . . . P.20
- 連結業績予想の概要 . . . P.25
- 株主還元 . . . P.31
- 参考情報 . . . P.32

2016年3月期より、在外連結子会社等の収益及び費用の円貨換算方法を、従来の決算日レートから期中平均レートに変更しました。この変更は遡及適用されるため、本資料の2015年3月期の実績は遡及適用後の数値を記載しています。

本日のポイント

第2四半期業績 売上高は、過去最高 営業利益は、5割増



- 通信モジュール向け半導体が好調
- 中期施策：ベースビジネスの拡大、自動車市場の深耕、新規商材の開発が順調

通期業績見通し 売上高は、上振れ 経常利益は、期初計画を据え置くも増益



- 中国の景気減速の影響を盛り込む

2016年3月期 第2四半期 連結決算の概要

2016年3月期 上期 連結決算サマリ (対前年同期比)

売上高は、245億円増 (+19.9%) の1,478億円

- **デバイス事業** 通信モジュール・自動車・プロジェクタ向けの増加
- **システム事業** 医用機器、レーザ機器の増加

営業利益は、4.9億円増 (+53.3%) の14億円

- **販売費及び一般管理費** 子会社の増加等による増加

経常利益は、9.2億円増 (+162.6%) の14億円

- **営業外費用** 為替差損の減少

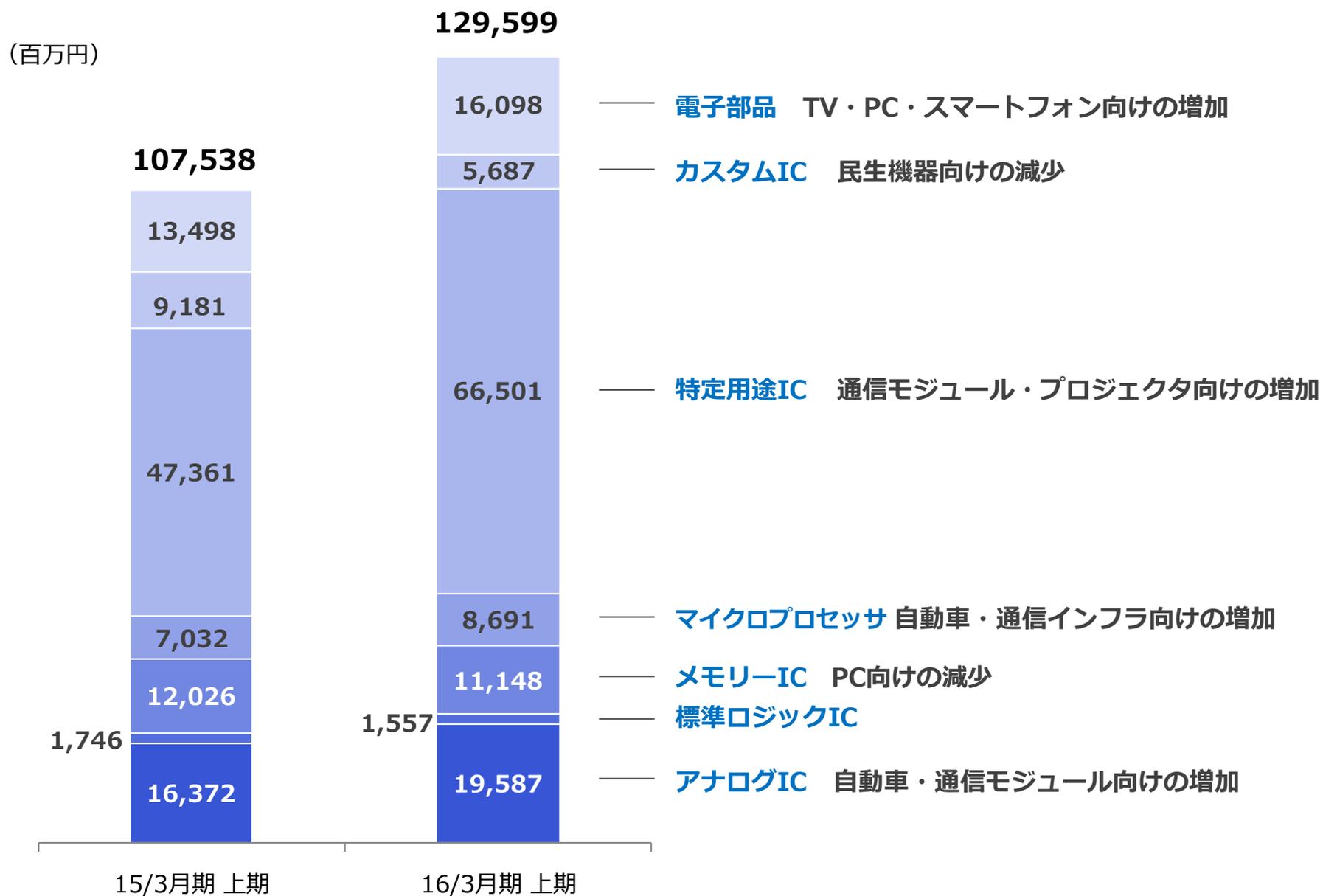
四半期純利益は、5.5億円増 (+206.5%) の8.2億円

- **特別損益** 投資不動産売却益、保有不動産に関わる減損損失等

2016年3月期 上期 業績サマリ

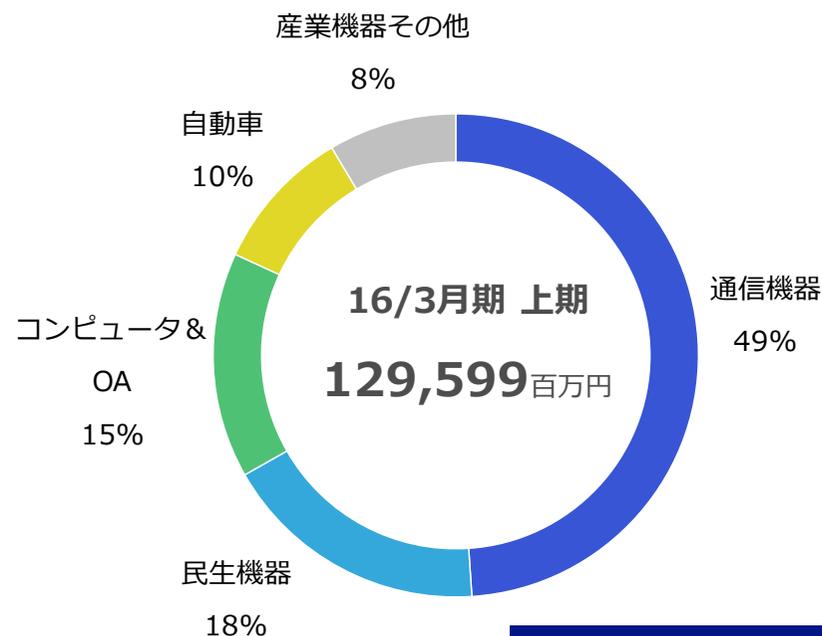
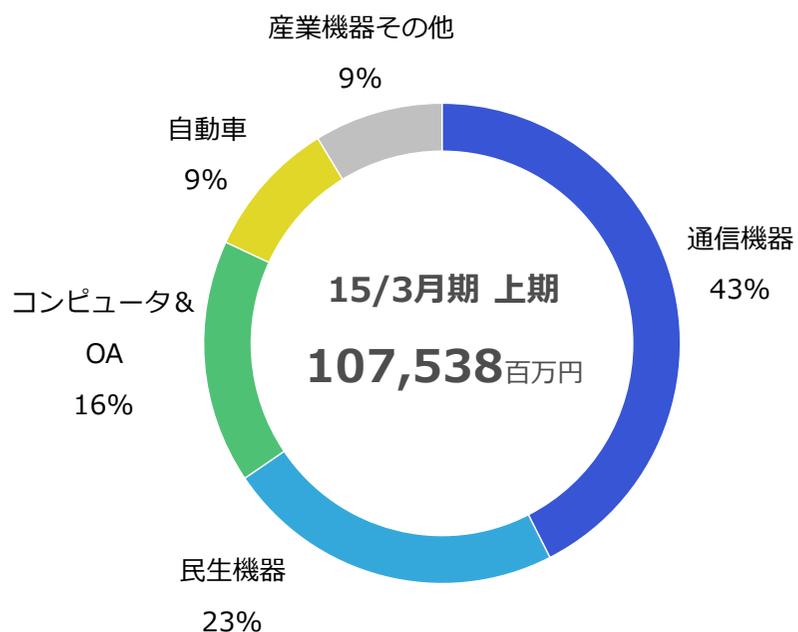
(百万円)	15/3月期 上期		16/3月期 上期		対前年同期比		【ご参考】 16/3月期 期初予想	
	実績	構成比	実績	構成比	金額	%	上期	構成比
売上高	123,240	100.0%	147,803	100.0%	24,563	19.9%	137,000	100.0%
デバイス事業	107,538	87.3%	129,599	87.7%	22,061	20.5%	118,700	86.6%
システム事業	15,701	12.7%	18,203	12.3%	2,502	15.9%	18,300	13.4%
売上総利益	8,166	6.6%	8,948	6.1%	782	9.6%	8,700	6.4%
販売管理費	7,242	5.9%	7,533	5.1%	291	4.0%	7,650	5.6%
人件費	4,485	3.6%	4,615	3.1%	130	2.9%	-	-
その他	2,757	2.2%	2,917	2.0%	160	5.8%	-	-
営業利益	923	0.7%	1,415	1.0%	492	53.3%	1,050	0.8%
営業外収益	346	0.3%	374	0.3%	28	8.1%	-	-
営業外費用	701	0.6%	297	0.2%	△ 404	-57.6%	-	-
経常利益	568	0.5%	1,492	1.0%	924	162.6%	900	0.7%
特別利益	-	-	693	0.5%	693	-	-	-
特別損失	4	0.0%	755	0.5%	751	16801%	-	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	269	0.2%	827	0.6%	558	206.5%	400	0.3%
期末従業員数 (名)	1,260	-	1,282	-	22	-	-	-

2016年3月期 上期 デバイス事業品目別売上高



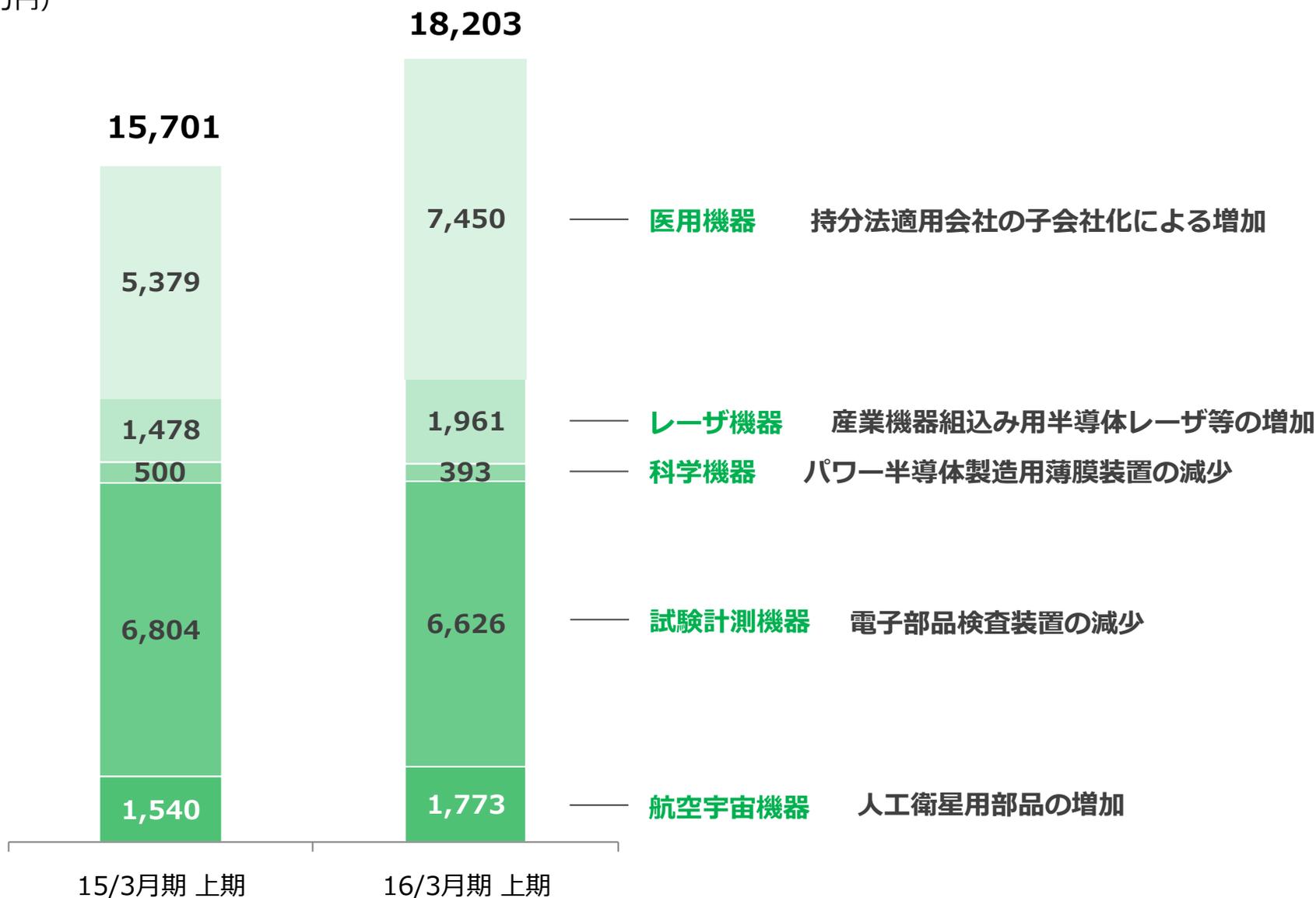
2016年3月期 上期 デバイス事業用途別市場動向

用途	市場動向
通信機器	通信モジュールや通信基地局向けが増加
民生機器	ゲーム機・デジタルカメラ向けが減少
コンピュータ&OA	プロジェクタ向けが増加
自動車	ナビゲーション・車内通信・エンジンコントロール向けが増加
産業機器その他	FA機器向けが増加

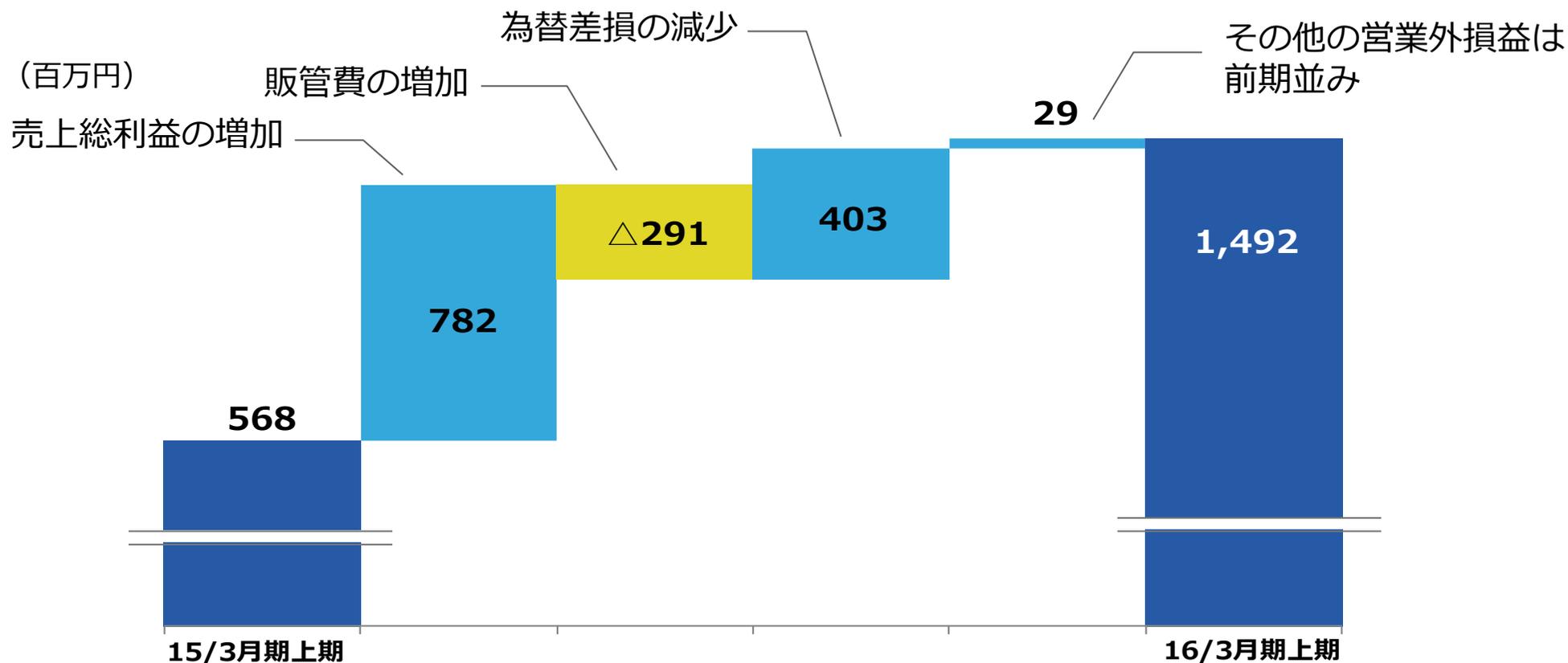


2016年3月期 上期 システム事業品目別売上高

(百万円)



2016年3月期 上期 経常利益の増減要因



売上総利益

売上増加による増加

15/3月期上期：81億円(6.6%) ⇒ 16/3月期上期：89億円(6.1%)

販管費

**人員増や持分法適用会社の子会社化による人件費の増加、
売上増加に伴う販売経費の増加**

営業外損益

為替差損の減少

15/3月期上期：453百万円 ⇒ 16/3月期上期：50百万円

2016年3月期 上期末 貸借対照表の概要

(百万円)	15/3月期末 実績	16/3月期 上期末 実績	対前期末比 増減額
流動資産	117,084	113,483	△ 3,601
現金及び預金	21,725	14,459	△ 7,266
受取手形及び売掛金	63,393	63,900	507
商品および製品	28,818	31,266	2,448
その他	3,147	3,857	710
固定資産	11,228	10,080	△ 1,148
有形固定資産	4,232	3,313	△ 919
無形固定資産	448	395	△ 53
投資その他資産	6,548	6,371	△ 177
資産合計	128,313	123,564	△ 4,749
流動負債	72,594	67,779	△ 4,815
支払手形及び買掛金	52,978	53,368	390
短期借入金等	15,300	9,605	△ 5,695
その他	4,316	4,806	490
固定負債	9,416	9,175	△ 241
長期借入金等	7,507	7,500	△ 7
退職給付に係る負債	1,194	1,184	△ 10
その他	714	490	△ 224
負債合計	82,010	76,955	△ 5,055
株主資本	38,068	38,556	488
その他の包括利益累計額	2,382	2,122	△ 260
非支配株主持分	5,851	5,930	79
純資産合計	46,302	46,608	306
負債純資産合計	128,313	123,564	△ 4,749

半導体在庫の一時的な増加

保有不動産の売却等による減少

返済による減少

2016年3月期 上期 キャッシュフロー計算書の概要

(百万円)	15/3月期 上期	16/3月期 上期
	実績	実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,123	△ 1,332
税引前当期純利益	564	1,431
売上債権の増減額 (△は増加)	4,078	493
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△ 6,135	△ 2,691
仕入債務の増減額 (△は減少)	11,132	△ 542
その他	△ 1,515	△ 22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 52	560
フリー・キャッシュ・フロー	8,071	△ 772
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,082	△ 6,744
現金及び現金同等物の増減額	5,529	△ 7,438
現金及び現金同等物の期末残高	24,505	14,074

半導体在庫の一時的な増加

投資不動産の売却による増加

短期借入金の返済

中期経営計画 事業戦略と重点施策の概要

中期経営計画の概要

ビジョン

持続的な成長が図れる筋肉質な企業の実現

スローガン

Think & Action (T & A)

構造変化をチャンスと捉え
経営改革を加速 & 攻めの経営でチャレンジ

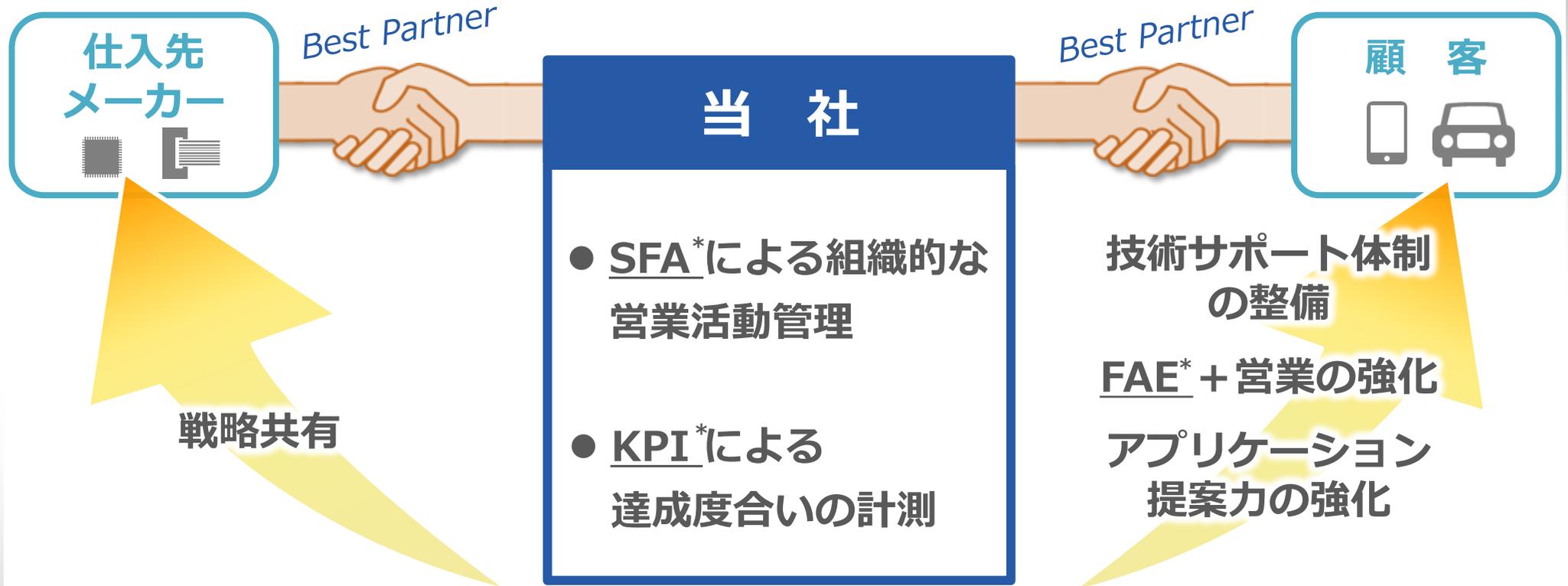
デバイス事業 4つのT & A

- ① ベースビジネスの拡大
- ② 成長市場への対応強化
- ③ 新規商材の開発推進
- ④ グローバル対応の強化

システム事業 3つのT & A

- ① エンジニアリングサービス拡充
- ② システムインテグレーション強化
- ③ 商品ラインナップ増強

2017年3月期 経常利益目標 60億円



*SFA Sales Force Automation 情報を有効活用した営業支援システム

*KPI Key Performance Indicator 重要業績評価指標

*FAE Field Application Engineer 製品やソリューションの専門知識を持ち技術的な提案ができる営業担当者

注 力 市 場	通信分野	<p>IoT[*]に着目</p> <ul style="list-style-type: none"> オリジナル評価ボードの開発、各種ソリューション紹介により市場開拓
	自動車分野	<p>ADAS[*]など次世代技術向けの取組みを強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 差別化分野であるカーナビのシステムやメーター、パネル、エンジンコントロール分野が寄与 北米や東南アジアなど海外市場での取組みを強化
	産業機器分野	<p>FA機器向けに注力</p> <ul style="list-style-type: none"> サーボモータ、シーケンサ向けが好調 各種センサなど製品の拡充
	医療機器分野	<p>内視鏡や高度医療機器分野での案件開発</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本が先進する分野での案件開発が進み、今後の加速に期待

*IoT Internet of Things 様々なモノをネットワーク接続して認識・制御する技術

*ADAS Advanced Driving Assistant System 自動運転などの先進運転支援システム

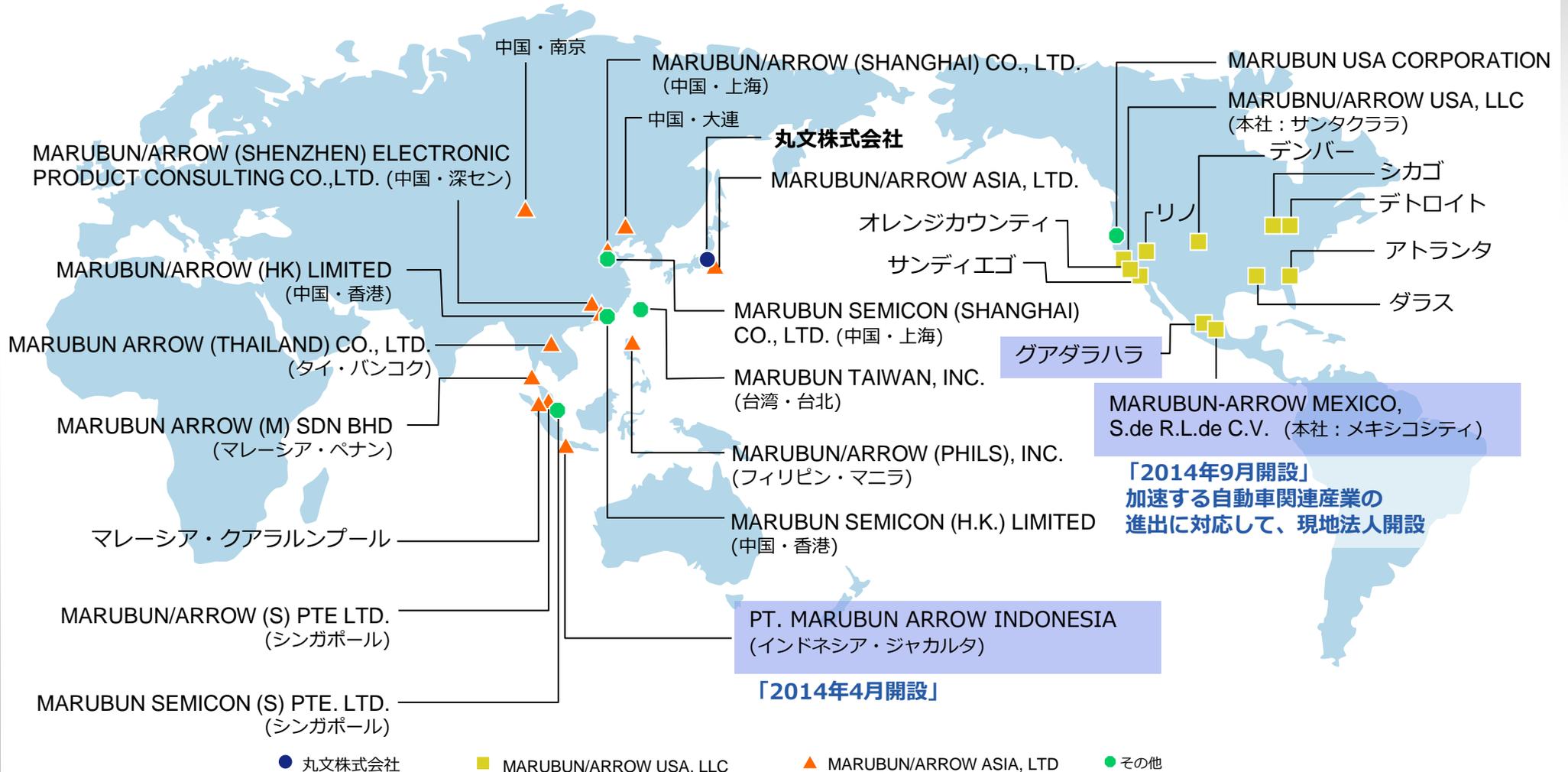
米国・台湾・中国を中心に50社以上の最新技術、最新製品をソリューション展開

<p>半導体</p>	<ul style="list-style-type: none">• OpenSilicon社（カスタムIC）• Baysand社（カスタムIC）• SanDisk社（Flash/SSD）	 <p>Baysand社 ASIC</p>
<p>電子部品</p>	<ul style="list-style-type: none">• Eink社（電子ペーパー）• Molex社（コネクタ）• IDT社（タイミングデバイス）• CNI社（カバーガラス）	 <p>Eink社 電子ペーパー</p>
<p>環境</p>	<ul style="list-style-type: none">• Winaico社 他（太陽光パネル）	 <p>営農型太陽光発電システム「Solar営農」</p>

アロー社の豊富な商材、拠点、物流情報インフラを活用し、海外サポート力を一層強化

丸文アロー 9カ国 23拠点

アロー社 56カ国 460拠点



「マーケットイン」と「カスタマーイン」の発想

顧客ごとに違うニーズに対応できるサービスとソリューションの提供による差別化の推進

① エンジニアリング
サービス拡充

② システムインテグ
レーション強化

③ 商品ラインナップ
増強

Best Partner

顧客



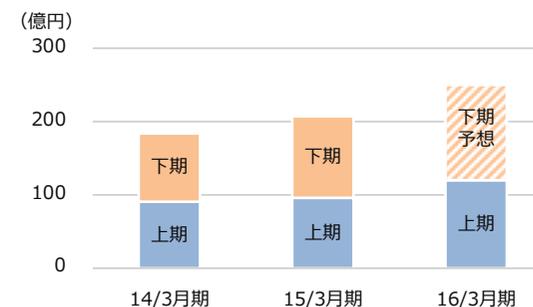
中期経営計画 上期の進捗状況

成長市場への対応強化

自動車分野

自動車向け半導体・電子部品が好調

- ADAS開発におけるメーカーの高いニーズにも対応



通信分野

IoT分野の引き合いが伸長

- 新オリジナル評価ボード寄与
- 各種センサ・マイコンの品揃え拡充



オリジナル評価ボード

中期経営計画 上期の進捗状況 – デバイス事業

ベースビジネス拡大への取り組み

技術サポート力の強化

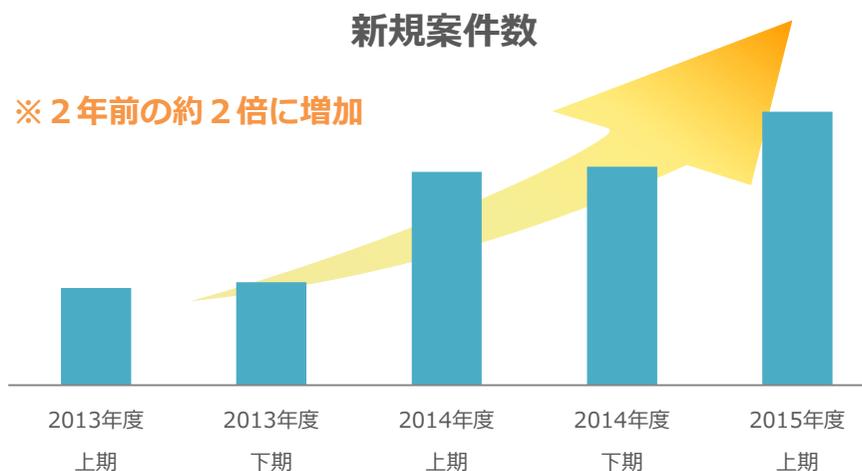
- エンジニアの採用・育成
- デジタル/アナログエンジニアの融合
- 社内教育・技術資料の充実

提案力の強化

- ソリューション提案
- トレーニングや展示会の実施

顧客からの
新規案件数増加

仕入先メーカーより
製品Expertとして表彰



中期経営計画 上期の進捗状況－デバイス事業

新規商材の開発推進への取り組み

FINsix社と代理店契約締結・資本参加

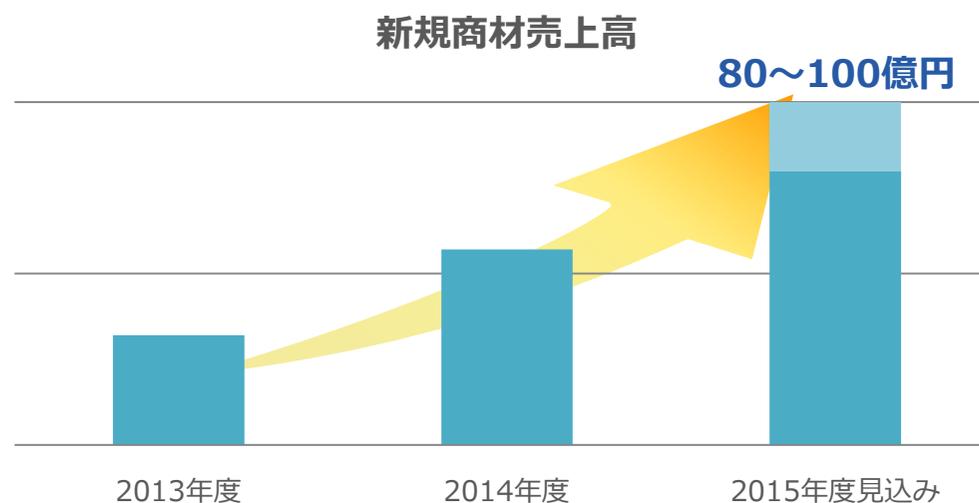
- ・ スイッチング技術をベースとした電源システムメーカー
- ・ PC用電源アダプター小型化の革新的な技術を保有

太陽光パネルの品揃え拡充

- ・ 農地向け→住宅用もカバー



FINsix社
超小型ACアダプター



医用機器

販売エリア拡大

- これまでの北陸3県から東京・甲信越へも進出

独自の付加価値を提供

- 設備・システムの導入支援
- 稼働後の保守・メンテナンス

レーザー機器

マーキング装置向け半導体レーザービジネスの推進

LED光源の積極的な提案

- 内視鏡向け品揃えを増強



レーザーライン社
組込み用半導体レーザー

試験計測機器

スマートフォン関連の設備投資に注力

- 電子部品向け組立検査装置やウエハー検査装置を拡販



アキム社
電子部品組立装置

2016年3月期 連結業績予想の概要

2016年3月期 業績予想サマリ

売上高は、2,840億円（+103億円）の見込み

- **デバイス事業** 自動車・プロジェクタ・通信インフラ向け半導体の増加
- **システム事業** 持分法適用会社の子会社化による増加、
医用機器、レーザ機器の増加

営業利益は、45.5億円（前年度並）の見込み

- **売上総利益** 売上増による増加
- **販管費** 子会社増加等による増加

経常利益は、45億円（+6億円）の見込み

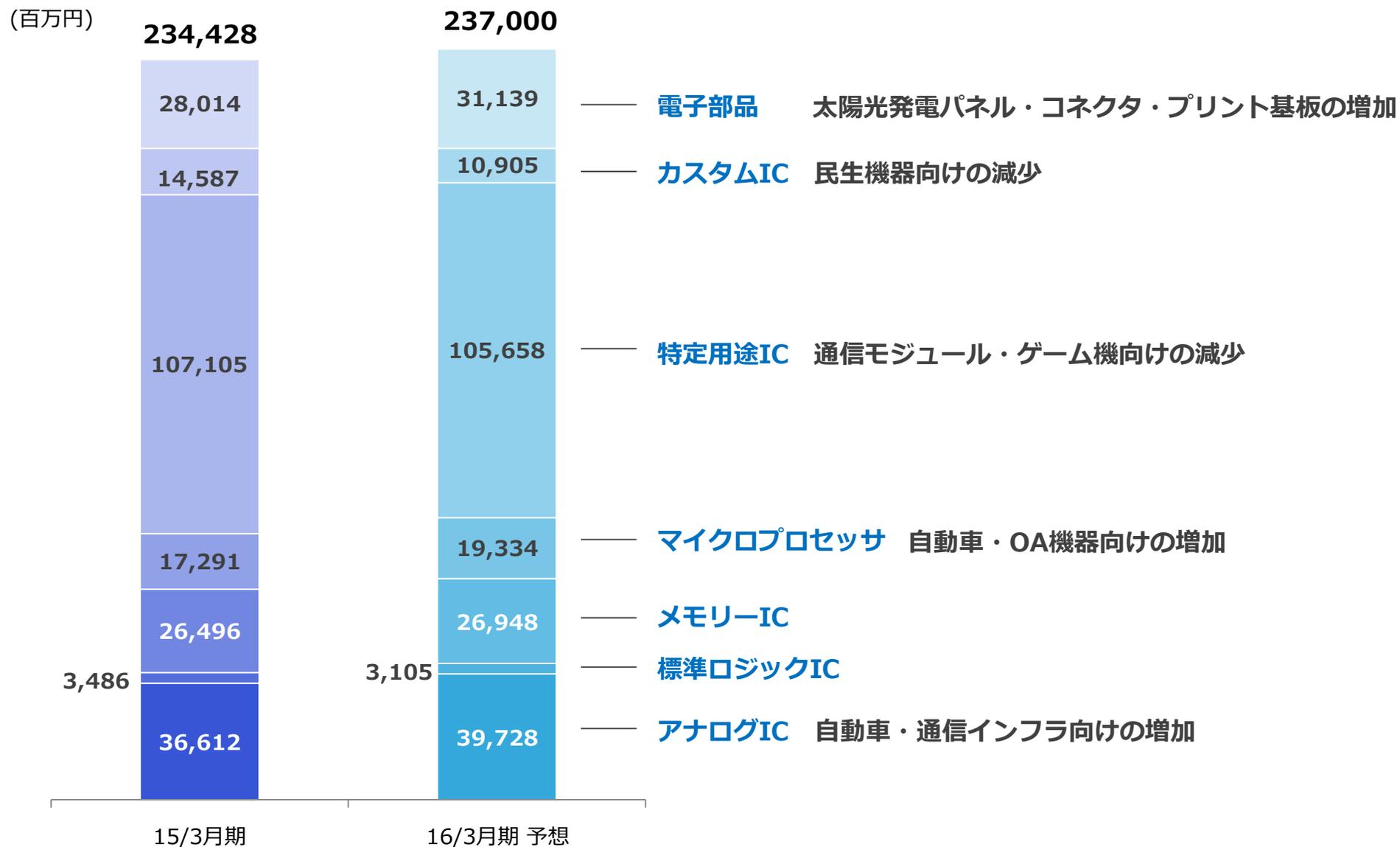
- **為替差損** 前期の為替差損（9億円）の減少

当期純利益は、25.5億円（+5.6億円）の見込み

2016年3月期 業績予想

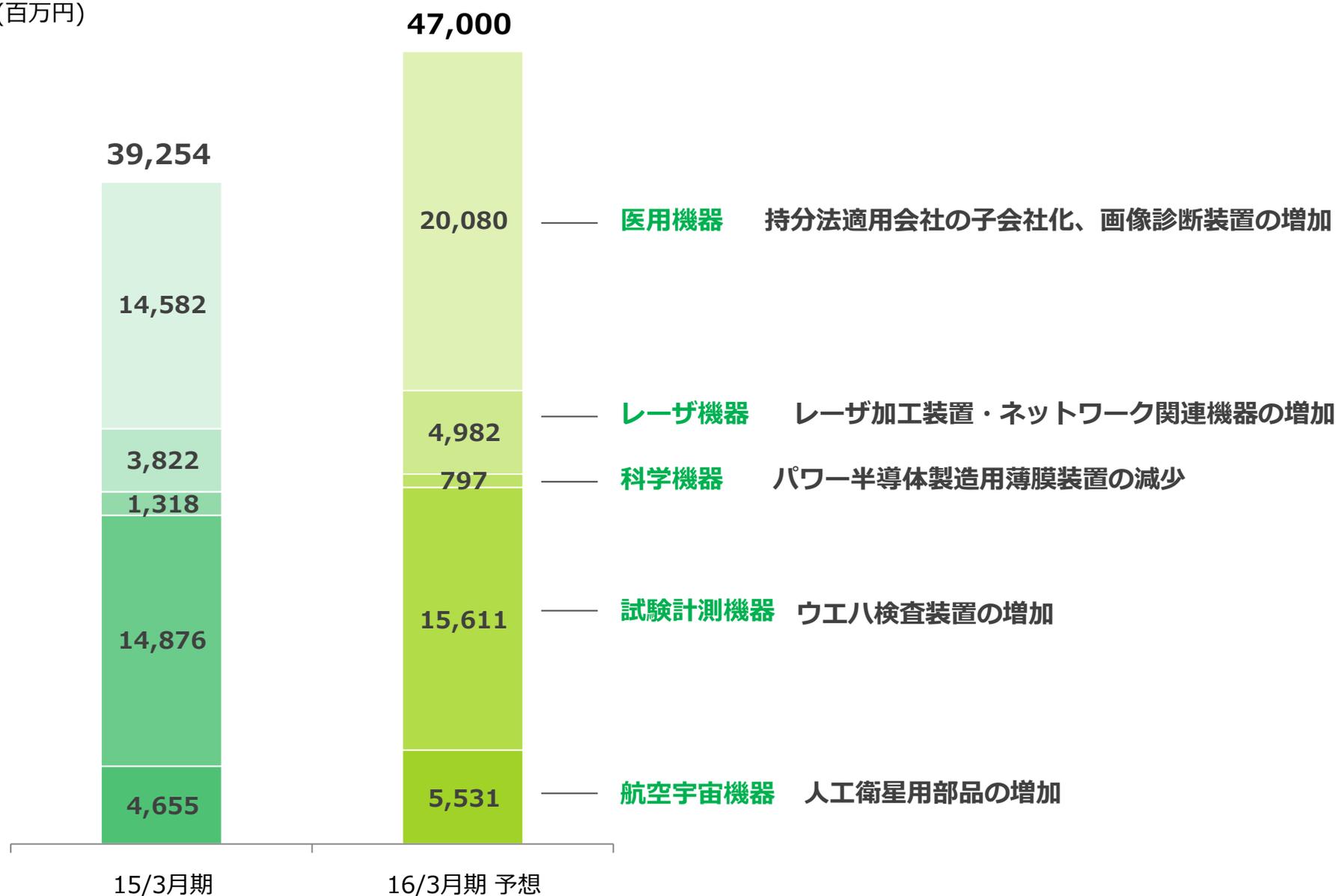
(百万円)	15/3月期		16/3月期		前期比	
	実績	構成比	予想	構成比	増減額	%
売上高	273,683	100.0%	284,000	100.0%	10,317	3.8%
デバイス事業	234,428	85.7%	237,000	83.5%	2,572	1.1%
システム事業	39,254	14.3%	47,000	16.5%	7,746	19.7%
売上総利益	19,146	7.0%	20,000	7.0%	854	4.5%
販売管理費	14,593	5.3%	15,450	5.4%	857	5.9%
営業利益	4,552	1.7%	4,550	1.6%	△ 2	0.0%
営業外収益	751	0.3%	600	0.2%	△ 151	-20.1%
営業外費用	1,418	0.5%	650	0.2%	△ 768	-54.2%
経常利益	3,886	1.4%	4,500	1.6%	614	15.8%
特別利益	7	0.0%	700	0.2%	693	9900%
特別損失	110	0.0%	750	0.3%	640	582%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,990	0.7%	2,550	0.9%	560	28.1%

2016年3月期 デバイス事業品目別売上高予想

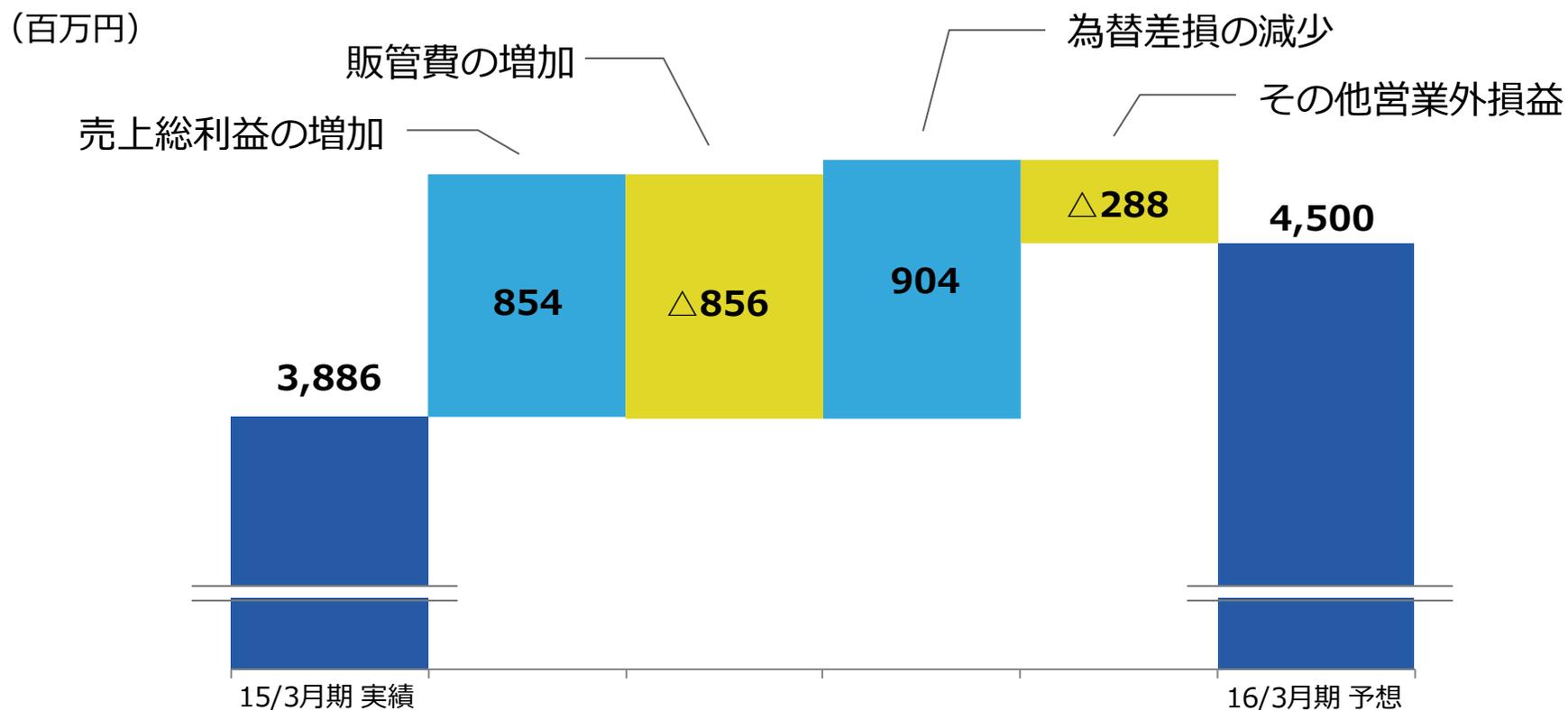


2016年3月期 システム事業品目別売上高予想

(百万円)



経常利益の増減要因（前期 vs. 予想）



売上総利益

売上増加による増加

15/3月期：191億円 ⇒ 16/3月期予想：200億円

販管費

持分法適用会社の子会社化や人件費増などによる増加

15/3月期：145億円 ⇒ 16/3月期予想：154億円

営業外損益

為替差損の減少

15/3月期：9億円 ⇒ 16/3月期予想：差損解消

株主還元

● 配当方針の見直し

配当性向	連結 25% 以上もしくは 単体 30% 以上の多い方
	連結 30% 以上

● 配当予想

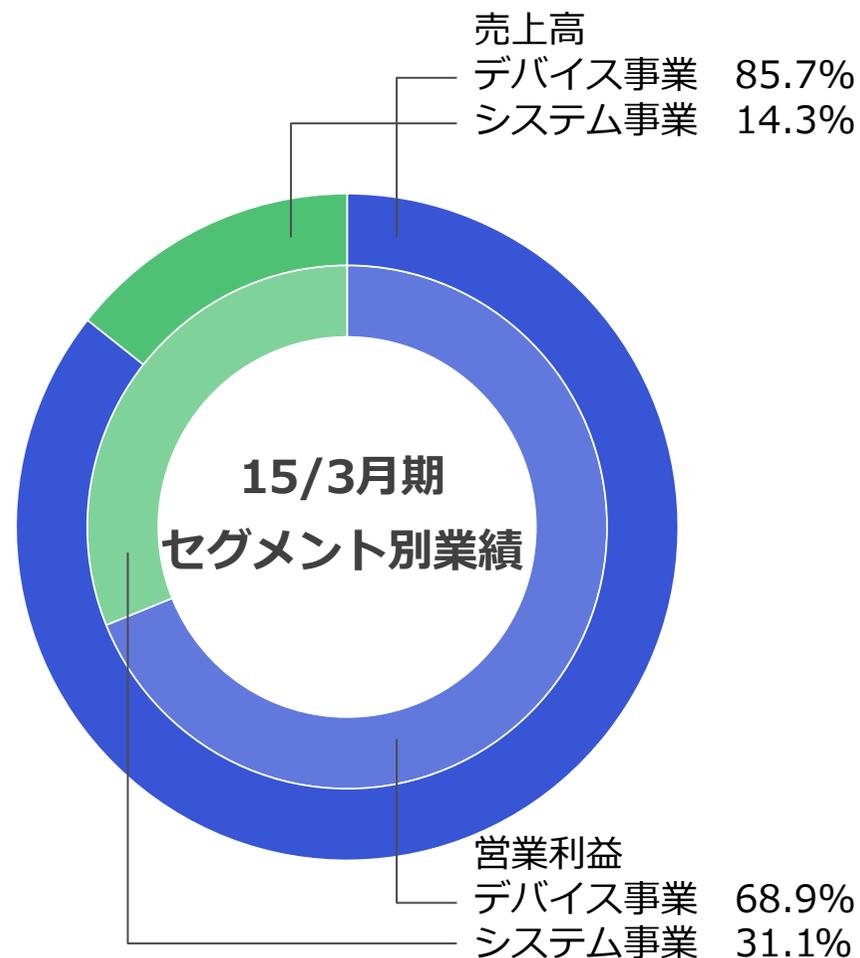
(円)	2015年3月期	2016年3月期 (予想)
1株当たり年間配当金	20.00	30.00
中間配当	7.00	12.00
期末配当	13.00	18.00



参考情報

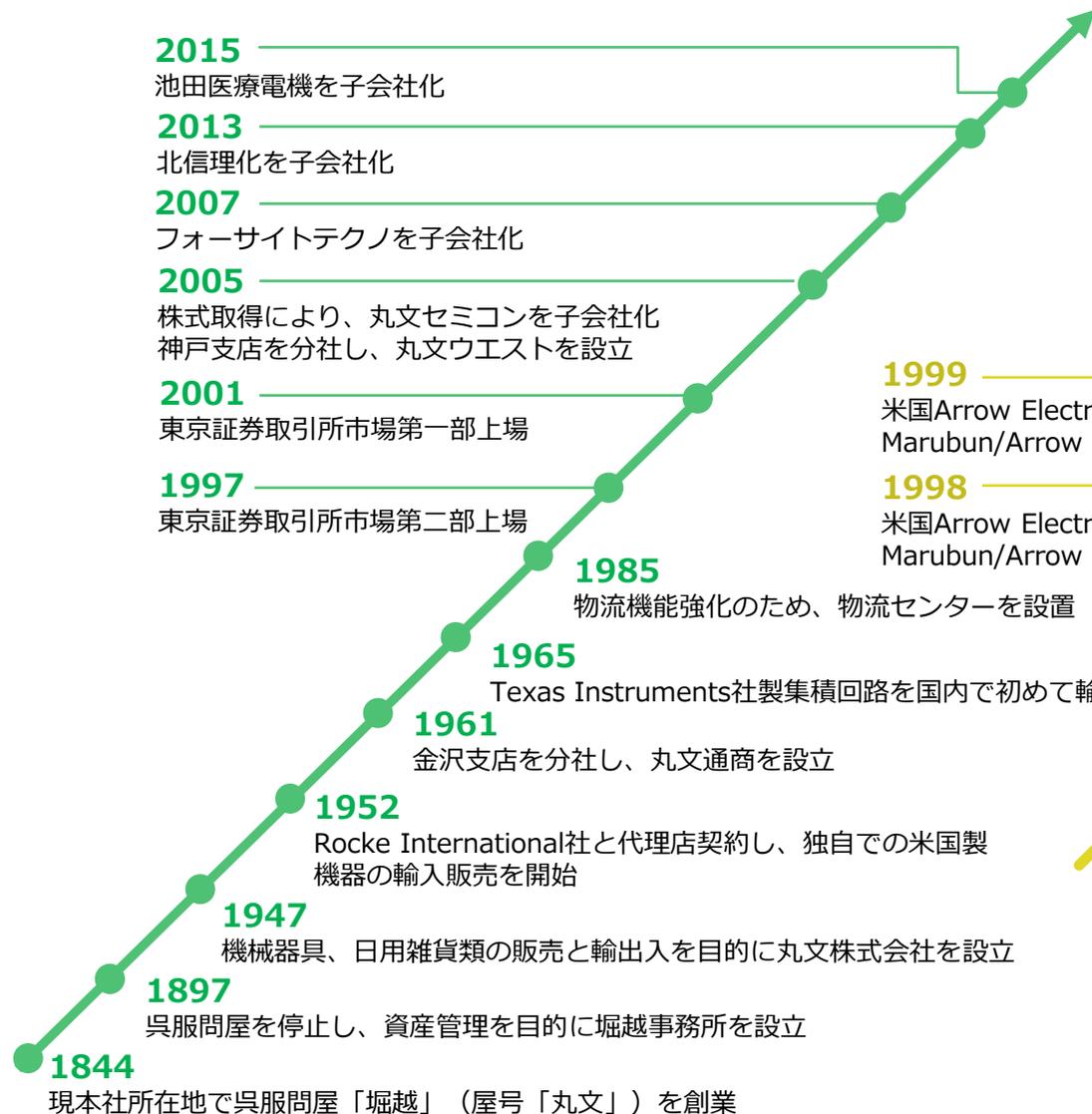
会社概要

- 設立 1947年7月
- 資本金 62億円
- 事業内容 最先端エレクトロニクス
機器・部品の販売
- 本社所在地 東京都中央区日本橋
大伝馬町8-1
- 連結売上高 2,736億円 (2015年3月期)
- 従業員数 1,282人 (2015年9月末現在)

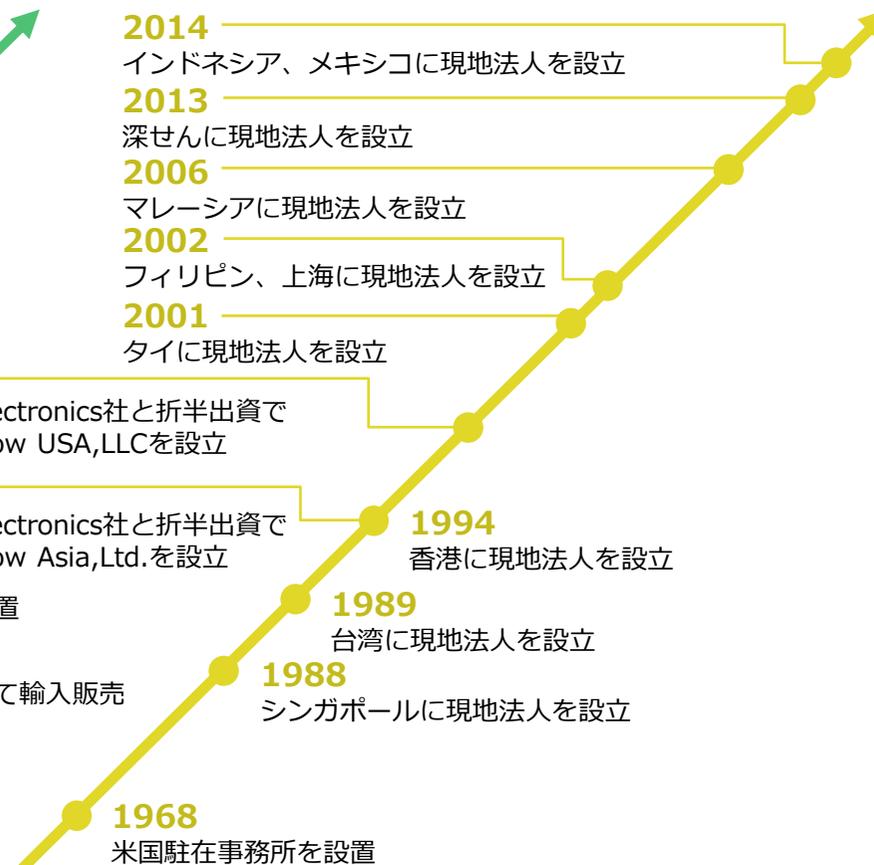


事業の変遷

国内



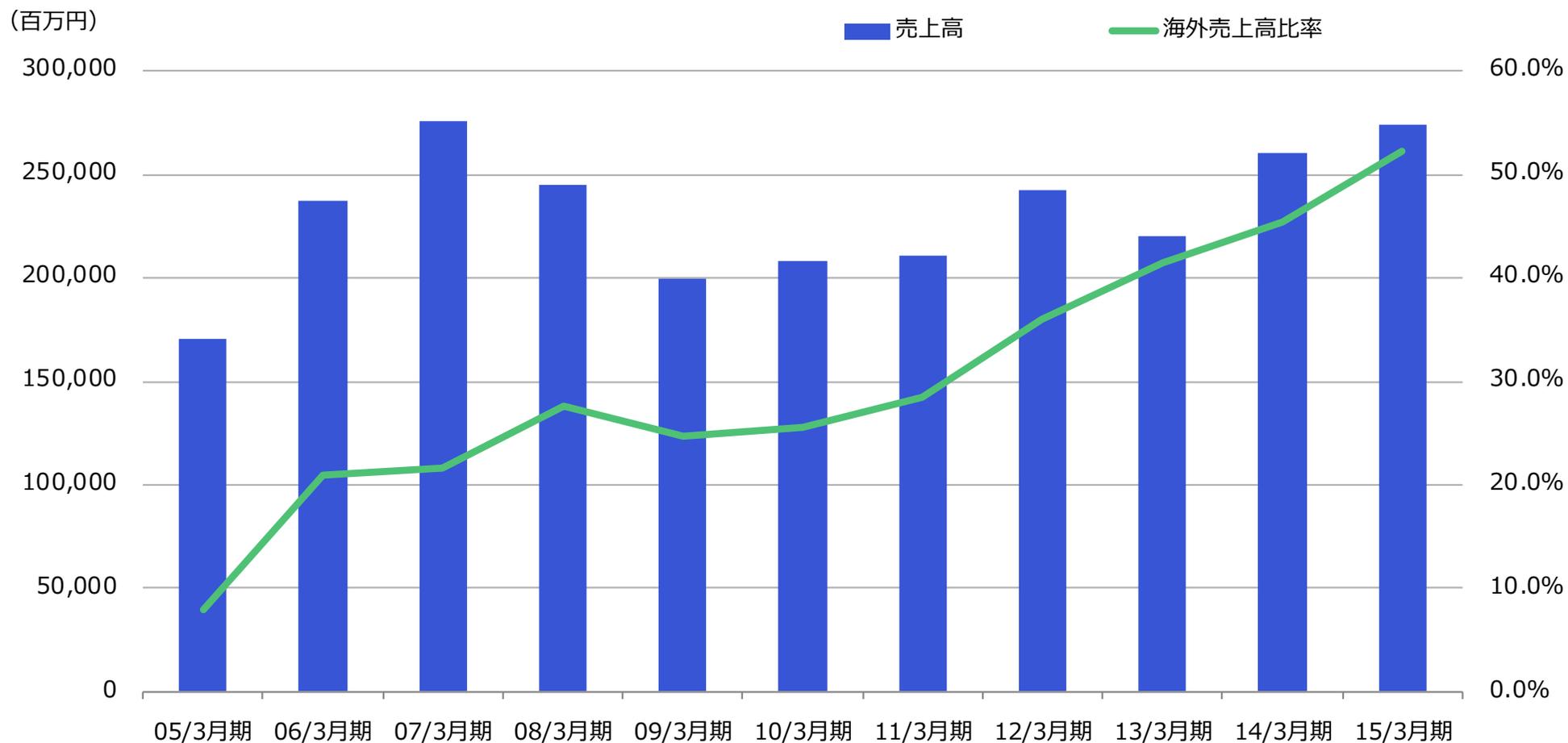
海外



(2015年10月末現在)

中長期業績トレンド

日系電子機器メーカーへの海外展開サポート推進により海外売上高比率が増加



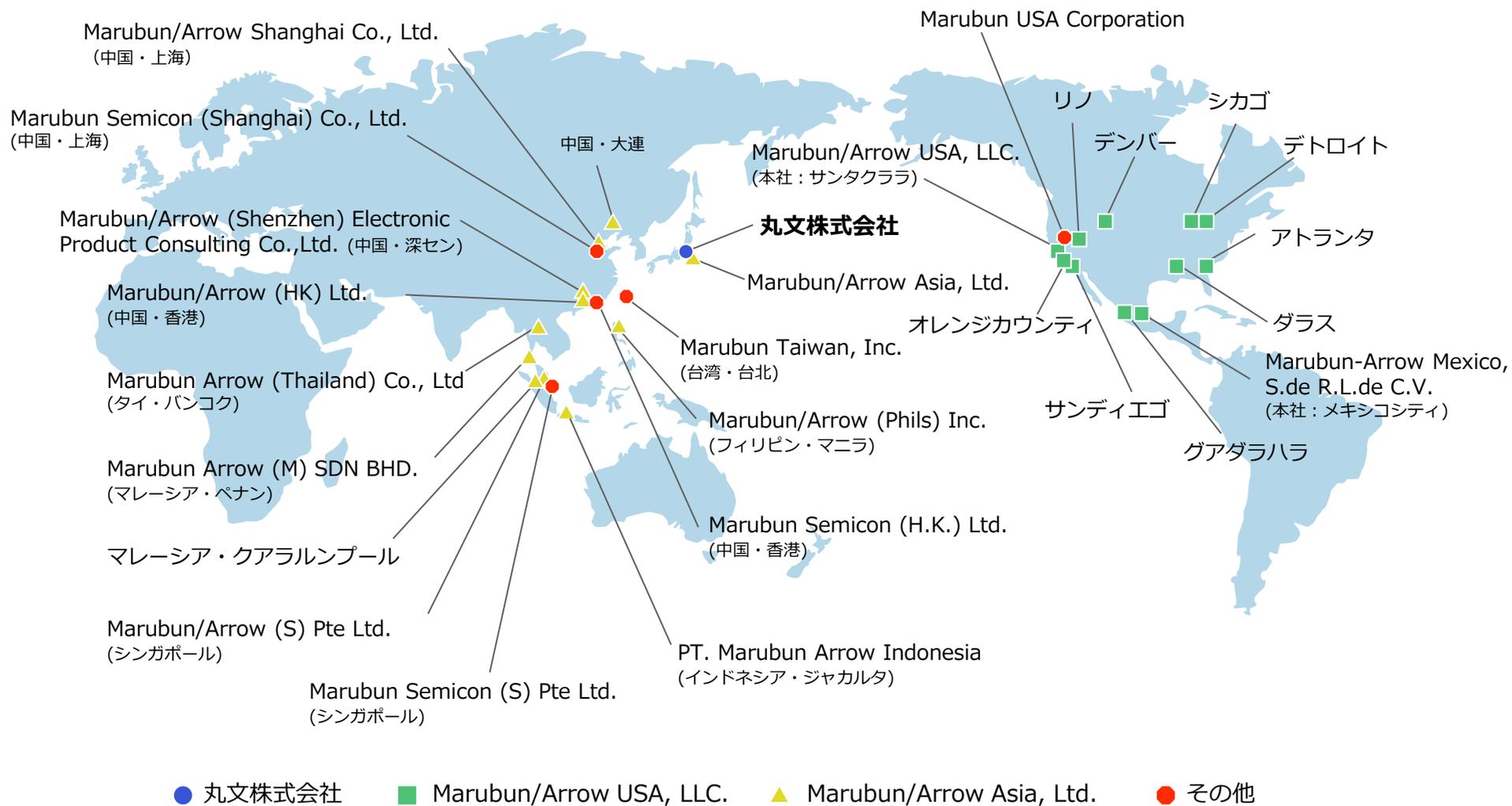
国内ネットワーク

- 支社、支店、営業所
- ▲ 物流センター
- 関係会社



(2015年10月末現在)

グローバル・ネットワーク



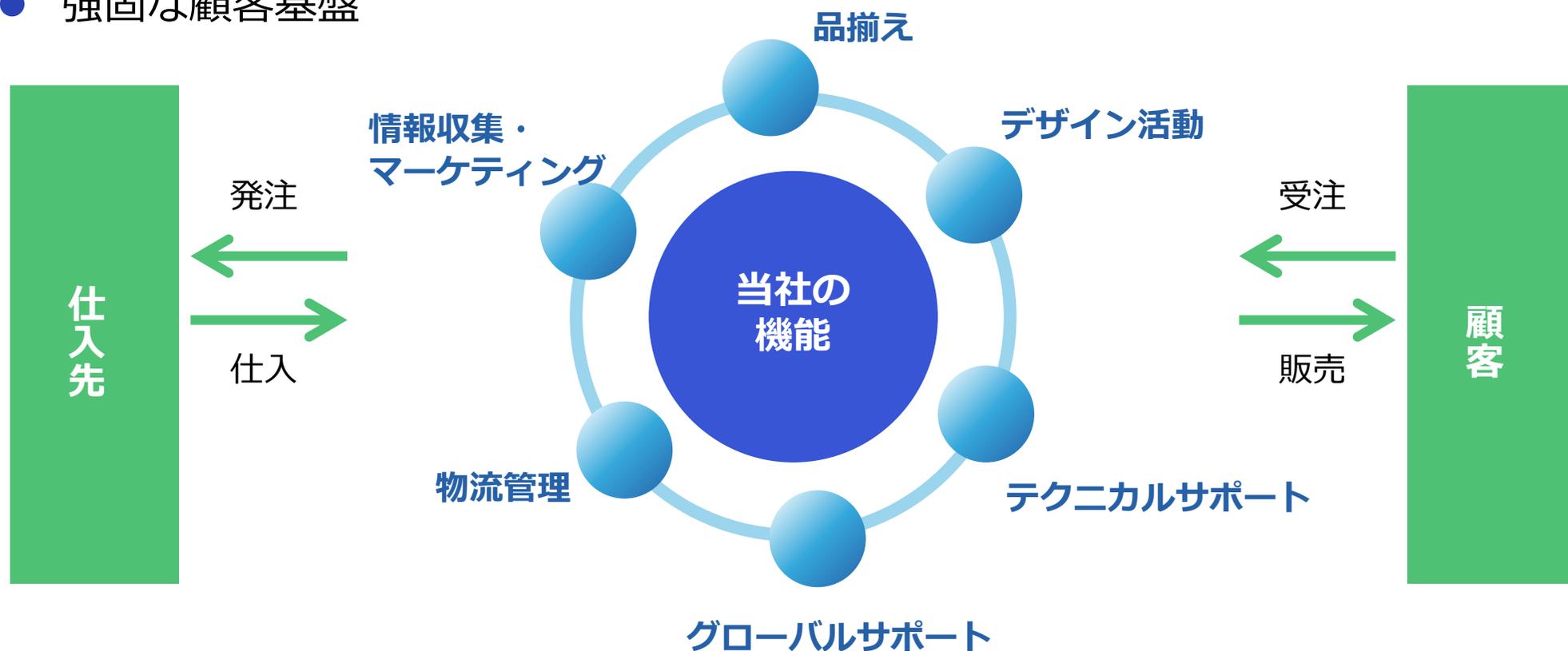
www.marubun.co.jp

(2015年10月末現在)

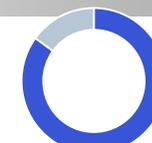
デバイス事業：特徴と強み



- 海外サプライヤを中心とした豊富な品揃え
- 米国アロー社(56ヶ国、460拠点)との提携によるグローバルネットワーク
- 高度な技術力をもとしたソリューション提案力
- 強固な顧客基盤



デバイス事業：グループ会社概要



デバイス事業

社名	住所	設立年月	出費比率	事業内容
丸文セミコン株式会社	東京都港区	2005年3月	100.0%	
Marubun Semicon (Shanghai) Co., Ltd.	Shanghai, China	2005年3月	100.0%	サムスン電子製半導体・電子部品の仕入販売
Marubun Semicon (H.K.) Ltd.	Hong Kong, China	2010年1月	100.0%	
Marubun Semicon (S) Pte. Ltd.	Alexandra Road, Singapore	2013年11月	100.0%	
Marubun USA Corporation	California, U.S.A.	1983年10月	100.0%	丸文アローUSAの持株会社
Marubun Taiwan, Inc.	Taipei, Taiwan	1989年11月	100.0%	台湾製デバイスの仕入販売
Marubun/Arrow Asia, Ltd.	British Virgin Islands	1998年10月	50.0%	丸文アローシンガポール、丸文アロー香港の持株会社
Marubun/Arrow (S) Pte Ltd.	Anson Road, Singapore	1988年3月	50.0%	
Marubun/Arrow (HK) Ltd.	Hong Kong, China	1994年8月	50.0%	
Marubun Arrow (Thailand) Co., Ltd.	Bangkok, Thailand	2000年10月	50.0%	
Marubun/Arrow (Phils), Inc.	Laguna, Philippines	2001年10月	50.0%	
Marubun Arrow (M) SDN BHD	Penang, Malaysia	2006年6月	50.0%	海外進出した日系企業への半導体・電子部品の仕入販売
Marubun/Arrow (Shanghai) Co., Ltd.	Shanghai, China	2002年9月	50.0%	
Marubun/Arrow (Shenzhen) Electronic Product Consulting Co.,Ltd.	Shenzhen, China	2013年6月	50.0%	
PT. Marubun Arrow Indonesia	Jakarta, Indonesia	2014年4月	50.0%	
Marubun/Arrow USA, LLC*	Delaware, U.S.A.	1998年11月	50.0%	
Marubun-Arrow Mexico, S. de R.L. de C.V.*	MexicoCity, MEXICO	2014年9月	50.0%	

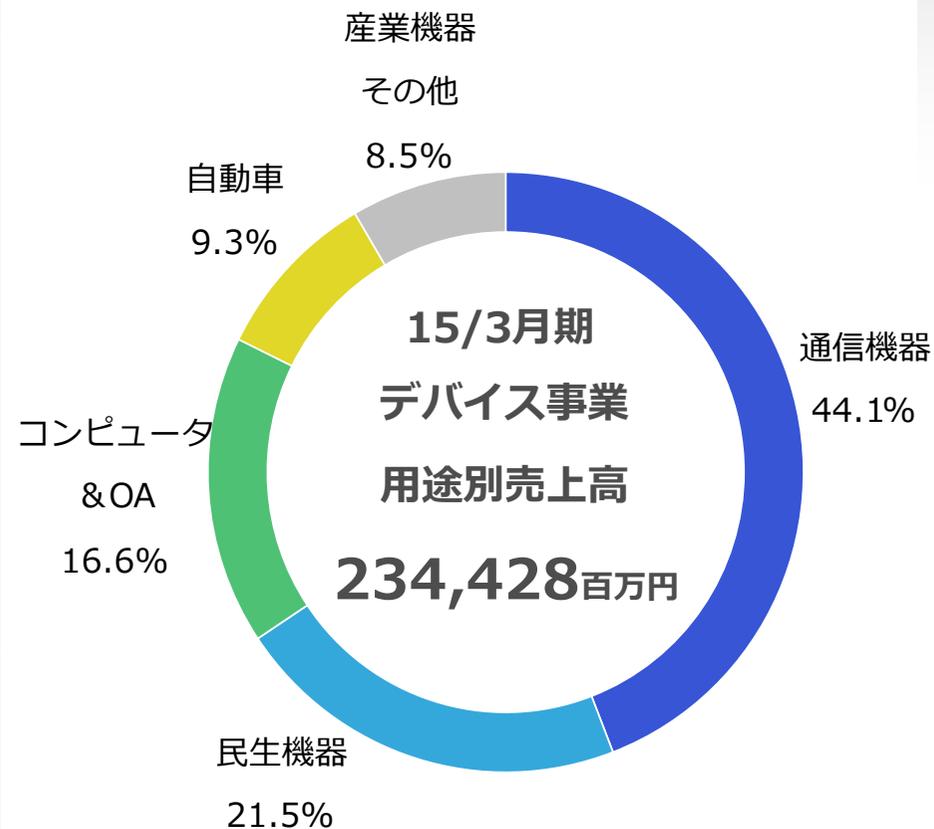
* Marubun/Arrow USA、Marubun-Arrow Mexicoは持分法適用関連会社

(2015年10月末現在)

デバイス事業：主要取扱い製品（用途別）



		用途				
		通信機器	民生機器	コンピュータ & OA	自動車	産業機器
半導体						
アナログIC	アナログ	●	●	●	●	●
	ディスクリート	●	●		●	●
標準ロジックIC		●	●	●	●	●
メモリーIC	DRAM	●	●	●	●	
	フラッシュ	●	●	●		
マイクロ プロセッサ	MPU、MCU	●	●	●	●	●
	DSP	●	●		●	●
特定用途IC	ASSP	●	●		●	
	ディスプレイ・ドライバ	●	●	●	●	
	DMD	●	●	●	●	●
	LED	●	●	●		
カスタムIC		●	●	●	●	
電子部品						
液晶パネル		●	●	●	●	●
有機EL		●	●			
水晶デバイス		●	●		●	●
コネクタ・スイッチ・プリント基板		●	●			



デバイス事業：主要取扱い製品（サプライヤ別）



デバイス事業

サプライヤ（アルファベット順）

		Asahi Kasei Microdevices	APCB (台湾)	Baysand (米国)	Broadcom (米国)	Etron (台湾)	Freescale (米国)	ISSI (米国)	Maxim (米国)	Molex (米国)	Open Silicon (米国)	Qorvo (米国)	Samsung (韓国)	SanDisk (米国)	Seiko Epson	Texes Instruments (米国)	Unimicron (台湾)
半導体																	
アナログIC	アナログ	●					●		●			●				●	
	ディスクリート						●										
標準ロジックIC																●	
メモリーIC	DRAM					●		●					●				
	フラッシュ												●	●			
	メモリーカード													●			
マイクロ プロセッサ	MPU、MCU						●								●	●	
	DSP	●					●									●	
特定用途IC	ASSP	●			●		●		●			●			●	●	
	ディスプレイ・ドライバ												●		●	●	
	DMD															●	
	LED												●				
カスタムIC		●		●							●		●		●	●	
電子部品																	
液晶パネル													●				
有機EL													●				
水晶デバイス															●		
コネクタ・スイッチ										●							
プリント基板			●														●



- ハイエンド市場で、技術優位性の高い電子機器・部品を提供
- システム提案から据え付け保守まで、一貫した高レベルの技術サポート



システム事業：グループ会社概要

システム事業



社名	本社	設立年月	出費比率	事業内容
丸文通商株式会社	石川県金沢市	1961年3月	100.0%	医用機器、試験計測機器及び電子部品の仕入販売
丸文ウエスト株式会社	兵庫県神戸市	2005年5月	100.0%	試験計測機器の仕入販売
株式会社 北信理化	長野県長野市	1951年11月	100.0%	試験計測機器の仕入販売
株式会社 池田医療電機	新潟県新潟市	1961年8月	100.0%	医用機器などの販売・修理・メンテナンス
株式会社 フォーサイトテクノ	東京都江東区	1999年3月	51.0%	機器の据付・保守を含めたエンジニアリングサービス提供

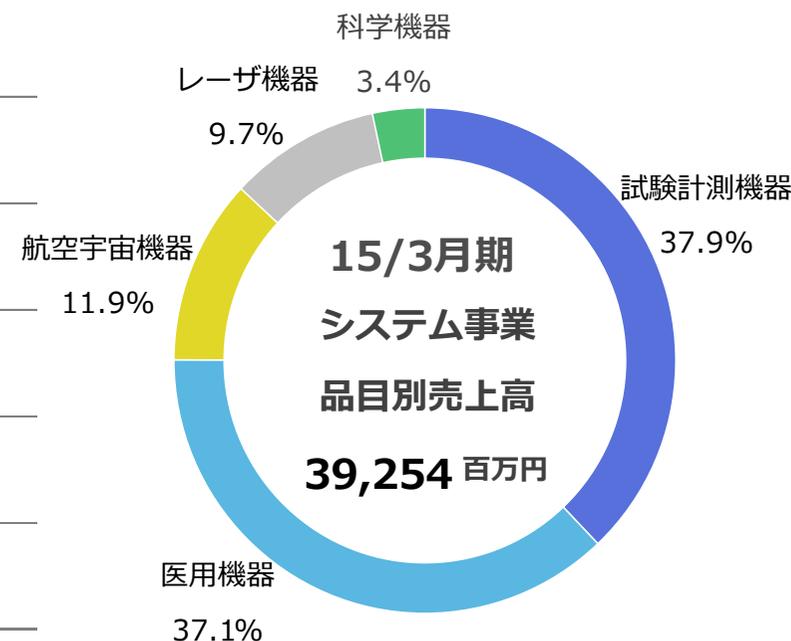
www.marubun.co.jp

(2015年10月末現在)

システム事業：主要取扱い製品①

分野	主要取扱商品	主要仕入先
航空宇宙機器	高信頼性部品、計測・センサ	Tele Communication Systems、Plascore、Lavision
	航空関連機器、高周波電子機器	CPI、L3 Communications
試験計測機器	検査装置・試験計測器 ボードコンピュータ	アキム、島津製作所、ARTESYN、ADLINK
	製造装置・組立装置	セイコーエプソン、日本アビオニクス
科学機器	MOCVD装置、MBE装置	AIXTRON、Riber
レーザー機器	半導体レーザー・レーザー加工機	nLight、Laserline
	ネットワーク・光学部品	Microsemi、Calnex Solutions、Excelitas Technologies
医用機器	画像診断機器	シーメンスジャパン、島津製作所、コニカミノルタヘルスケア
	人工透析機器	日機装、旭化成メディカル、カネカメディックス

システム事業

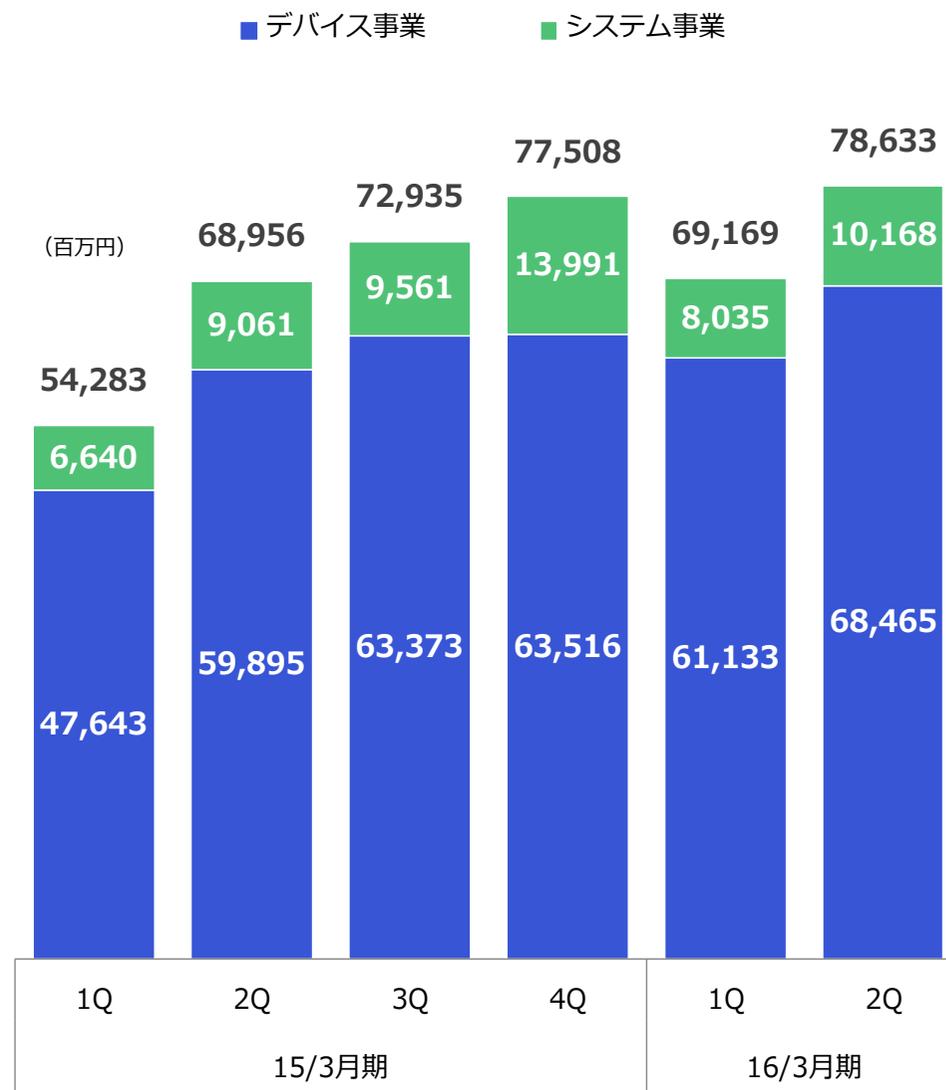


www.marubun.co.jp

業績四半期推移（事業別受注高・事業別売上高）

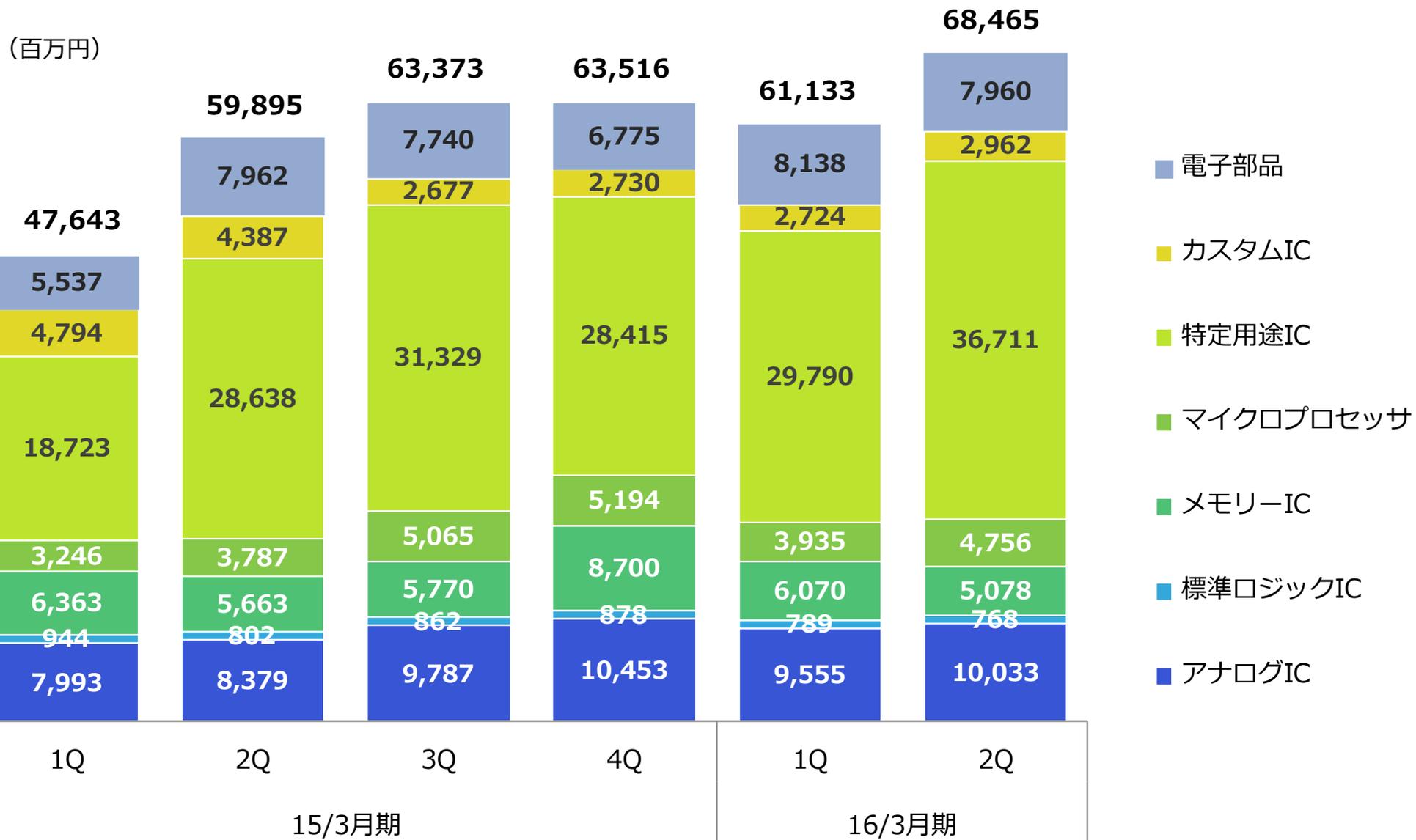
事業別受注高

事業別売上高



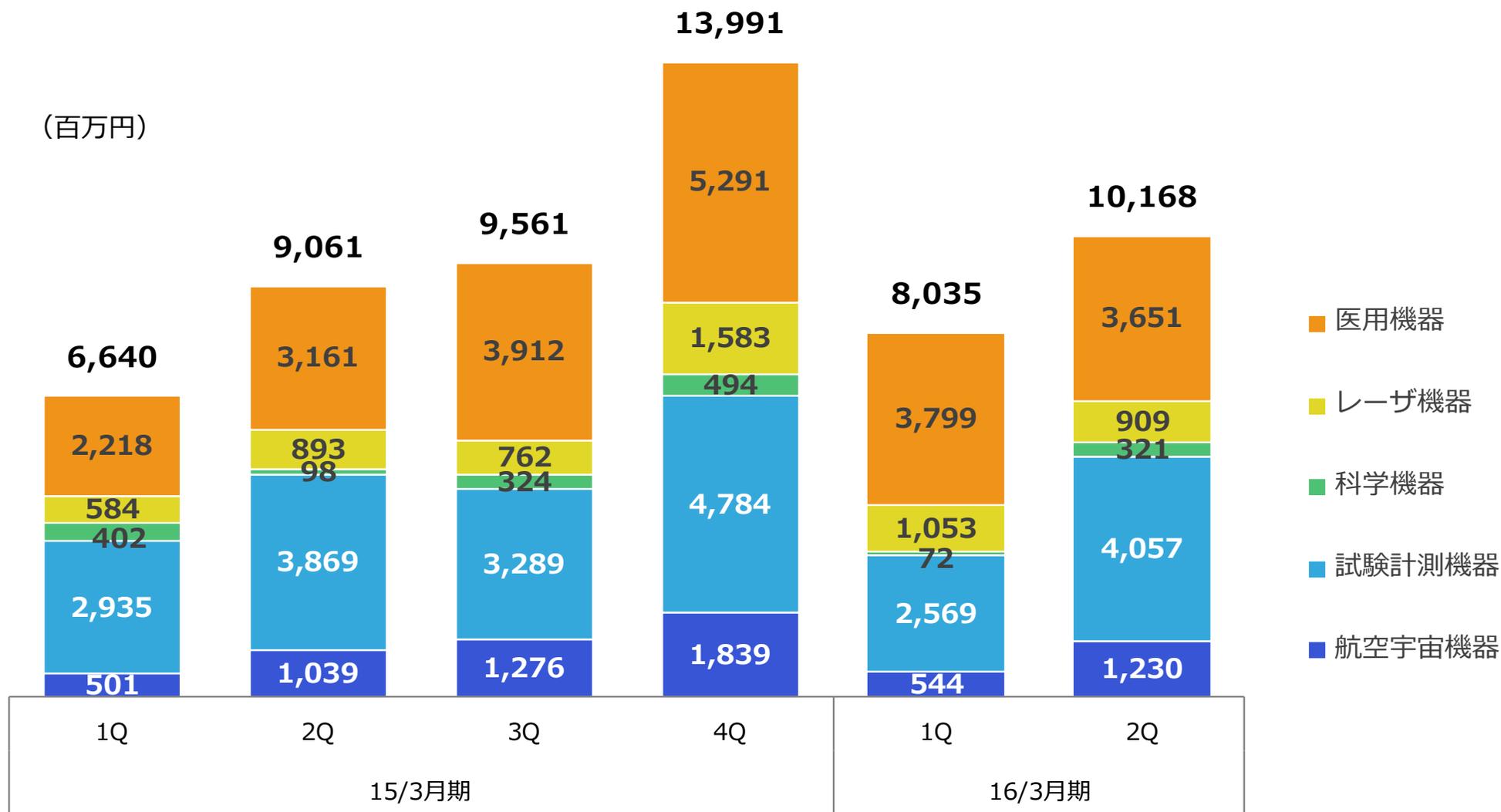
www.marubun.co.jp

業績四半期推移（デバイス事業：品目別売上高）



業績四半期推移（システム事業：品目別売上高）

(百万円)



本資料お取扱い上のご注意

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な重要な要素により異なる可能性がありますことをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ

丸文株式会社 経営企画部

TEL 03-3639-3010

E-mail ir@marubun.co.jp